

碧岩・三段の滝 & 狭岩峡・不動の氷瀑 2018/02/10

メンバー：落合（記録）、飯野

天候：晴れ時々曇り

碧岩登山口 7:30 下山 11:30⇒狭岩峡 12:50 15:00 下山

碧岩という鋭い岩峰は南牧村の奥地にマッターホルンのように聳え立つ。同じ西上州で言えば妙義の筆頭岩のような登高意欲を掻き立てられる山だ。そこを源頭に落ちる滝が三段の滝で南牧村三名瀑に数えられている、唯一冬に完全凍結してアイスクライミングの登攀対象となる。

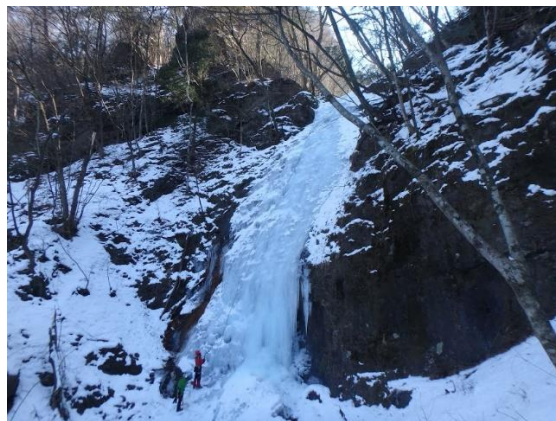
パートナーは地元西上州に住む飯野さん、幼い頃から冬は専らスキー中毒だった彼も今年から遂にアイスに手を染めてしまった。冬に地元でこんなフィールドがあるならそそのかされても無理ないだろう。。

碧岩・三段の滝は 100m 強あるが、下・中段は全体的に傾斜が緩いので登ってみるとそれ程大きさは感じない。しかし、ロープを伸ばすとやはりそれなりの長さ（奥行）があって 3ピッチで切らざるを得ない。

両岸には立木があり支点には困らないが、せつかつなので氷の雰囲気を楽しもうと水流沿いでスクリュ-・ビレイ。

今回は実現しなかったが、三段の滝をアイスクライミングで登ったあと碧岩西稜をアイゼンで継続登攀すればさらに充実感が増しそうで、碧岩に立つなら氷と岩を駆使して山頂に立ってみたいところだ。

こんな所でも後続パーティーがやってきたので午前中のうちにサクッと切り上げて、氷は終始快適に登ってサクッと終了。



上段・リードの筆者（左）、登山道からみた上段全景（右）

【参考グレード・内容】

下・中段Ⅱ～Ⅲ

（下段は右側が凍結良好、左側は水流があり凍結無し、中段は全体的にしっかり凍っている）

上段Ⅲ+～Ⅳ（右の方が傾斜は強いが凍結が甘い）、

スクリュ-6～7本程度

アプローチ 20～30分

午後は近くの狭岩峡（せばいわきょう）へ移動。こちらは田口峠に向かう林道の途中にあり、県境を越えて長野県・佐久市にあたる。西上州の括りにしていいかは不明だが、林道を車で走っていると岩が急に狭まってきた峡谷に差し掛かると車道からすぐ左の沢にズドンと氷瀑が落ちているのが不動滝だ。

碧岩登山口からは車で10～15分程度の距離で、ハーネス・ヘルメットを付けたまま車で移動。

これも西上州でしか出来ないアイスクライミングの新しい形かもしれない。

不動の氷瀑は路肩に車を停めて目の前にある、滝の落差も然り何とも手頃な滝だ。

アイス4回目である飯野さんも安定した登りで、手応えを掴んだようである。貸し切りなので思い切って登れたのもよかった。

登っている途中、振り返ると滝からは自分たちの車が見えて、終了点に立つと狭岩峡独特の大岩壁が高台から望むことが出来る。こんな所でも知らない西上州が広がっていてお買い得感満載だ。

今回は時間が無くて登れなかったが、同じエリアにある仙人の氷瀑、なかなか凍結しない幻の滝'でいらんぼうの氷瀑'と改めて興味深い山域だと再認識。



林道からみた不動の氷瀑（左）、リードする筆者（右）

【参考グレード・内容】

下・中段V-、上段IVくらい（凍結良好・両側が若干甘い）

スクルー7～8本程度

ダブル・ロープ2本

2段目は小滝になっていて全く凍結していないが、水が流れていた。